

Information

| イベント情報 |

10月	10/24(金)	まちだづくりカレッジ最終発表会 kichika(キチカ) (相模原市南区 相模大野3-23-2 パークハイム渋谷B1) 14:00~17:00 発表会 交流会あり 連続講座「まちだづくりカレッジ」組織づくりコース、ナリワイづくりコースの受講生が事業計画について最終発表を行います。どなたでもご参加いただけます。
	11/1(土)	聴けてる?子どもの声 届いてる?わたしの声 まちだこどもアクション 子どもと共にありたい大人のしゃべり場 オンラインZOOM ミーティングID:835 3010 2837 /パスコード:618915 11月テーマ「子どもの権利条約と子どもの権利条約フォーラムについて知ろう」 どなたでも申し込みなしで、当日ご参加いただけます。
11月	11/6(木)	まちカフェ!オープンデー 町田市庁舎2階 市民協働おうえんルーム 10:00~17:00 10:00~17:00 まちカフェ!直前相談/ラミネート作業会 13:00~14:00 インクルーシブ研究会vol.8 デフリンピック日本初開催!「聞こえない」を知ろう
	11/29(土) ~12/7(日)	Pickup Event 第19回町田市市民民協働フェスティバルまちカフェ! 11/29(土)は市庁舎にてオープニングイベントを開催 その他、町田市庁舎・市内各会場・オンライン等で開催 まちカフェ!イベント一覧・チラシなど詳細は公式HPよりご覧ください▶ QRコード
12月	12/21(日)	まちだ地域まるごとキャンパス最終報告会 まるごとキャンパス参加団体・学生による報告会です。 ご関心のある方、どなたでもご参加いただけます。

スタッフが日々の生活や仕事の中で見た、聞いた、感じたことを読者の皆さんにちょこっとシェアします。
過去のバックナンバーも右記のHPからご覧いただけます。ぜひお楽しみください。

サポートオフィススタッフ Note No.5

杉山亜紀
ラジオからのkindle出版、トイキャラ(算命学)や語学学習アプリDuolingo、そしてまちカフェ!、ワーケーションを毎日配信中。

「大事なことは何度も」

広報講座のサイレント自己紹介で「1年以上毎日ラジオ配信しています」と大力ミングアウトをしてから、3年が経ちました。趣味が高じて、ついにはオープンデーでの体験講座や、専用チャンネル「まちカフェ!ステーション」も開設させていただきました。個人的な趣味としてだけでなく、地域活動の発信ツールとしてぜひ活用してもらいたいと、うつおしいくらいにアナウンスし続け、少しずつですが、まちカフェ!実行委員会の中にもスタッフ(stand.fm)仲間が増えています。が!大事なことは何度も繰り返して伝えないと伝わりません(笑)。今年は実際に体験してもらう機会を増やして、うるさいくらいにおすすめしますので、どうぞよろしく♪

スマートフォン画面
QRコード

町田市地域活動サポートオフィスでは、地域活動に関する悩みや相談を受け付けています。電話やメール、または直接来所して相談することができます。



MAIL info@machida-support.or.jp

TEL 042-785-4871

月~金 午前9時から午後6時 (毎月第三水曜日は午後5時まで)

〒194-0013 東京都町田市原町田4丁目9-8 町田市民フォーラム4階

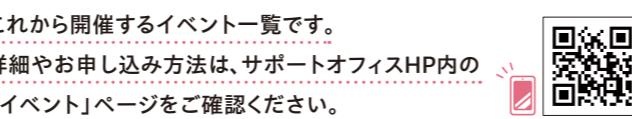
最新情報はホームページや各種SNSでも発信しております。



友だち登録募集中

<https://machida-support.or.jp>

これから開催するイベント一覧です。
詳しいお申し込み方法は、サポートオフィスHP内の
「イベント」ページをご確認ください。



まちだづくりのコミュニケーション誌 サポートオフィス通信

一般財団法人町田市地域活動サポートオフィス 発行

2025 OCT vol.62



● まちだ地域まるごと
キャンパスの
最終報告会を実施します

12月21(日)10:00~12:00

本事業に関心のある方、
来年度以降受け入れを
検討中の方は
ぜひご参加ください。



市内各所で行われているプログラムの様子▲

Now | 近況報告 |

まちだ地域まるごとキャンパス、各地で活動が進んでいます

今年度初実施の「まちだ地域まるごとキャンパス(通称:まるキャン)」。高校生や大学生などの若者が、地域のボランティア・市民活動・町内会・自治会活動・地元企業が提供する20のプログラムにそれぞれ参加し、地域での活動を体験しています。今年は76名から応募がありました。プログラムは1DAY(夏休みの時期を利用して1日活動体験ができるプログラム)と、3DAYS(8月~12月の期間、各団体の事業や企画に合わせて3日間活動するプログラム)の2種類が選べます。1DAYは8月ですべての活動が終了しましたが、3DAYSのプログラムは続いているので、街で活動を見かけたときには応援をお願いします!

データで見るまるキャン 申込時に学生さんに聞いた 「まるキャンに参加しようと思った理由」TOP5

- 1位 新しいことにチャレンジしてみたいから
- 2位 NPOや市民活動団体/地域活動団体について知りたいから
- 3位 活動の経験を進学や就職活動に活かしたいから
- 4位 企画や広報、コミュニケーションなどのスキルを身に着けたいから
- 5位 地域の大人や他校の学生などと出会いたいから

(複数回答可)

新しい経験や学び、出会いを求めてプログラムに関心を持っている様子がうかがえます。
受け入れ団体がプログラムを作るときには、学生さんが初めて経験する内容やいろんな大人との関わりを取り入れると満足度の高い体験になりそうです。

まるキャンに参加した学生の感想

嬉しかったことや印象に残ったこと

- またきてほしい!楽しかった!など参加した人から
言ってもらえたことが嬉しかった。
- 地元のお祭りに色々な年齢層の人たちが集まって
わいわいしていたので、活気のある地域なんだなと思った。
- 演劇という同じ趣味を持っている人と
話す機会がなかなかないから
良い経験だった。



挑戦してみたこと

- できる限り1人になる子どもがいないように
みんなに平等に話しかけることを意識しました。
また本人のペースで会話ができるよう
目線を合わせて話しかけることを頑張りました。
- こういうアクティビティに参加するのは本当に好きなのですが、
外国人なので不安でなかなか挑戦できませんでした。
今回を通して自信がつき、これからもっと参加したいと思います。



公式LINE
始めました
友だち登録で
最新情報配信中!

Topics

| 特集 |

\ 事例から学ぶ / 地域の関係性づくり

地域でやりたい・叶えたいを サポートオフィスが企画からお手伝いします!

サポートオフィスでは、地域の方々と意見交換をしながら、対話の場や地域でのイベントの企画立案・運営をサポートしています。各地域で対話の場や、地域の団体・個人がチャレンジできる機会が広がることで、すぐに「課題解決」にはつながらなくても、その基盤となる関係性が育まれ、最終的には地域の課題解決につながると感じています。今回は、鶴川地区協議会主催の鶴川ハッピーフライデー

(毎月最終金曜日、鶴川市民センターにて開催)での具体的な事例をご紹介します。サポートオフィスは、ハッピーフライダーの企画会議に関係者として参加し、7月・8月のイベント企画と実施等のサポートをしました。地域における場づくりやイベント企画づくりのヒントになさってください。みなさんの地域で実施してみたい事がありましたら、お気軽にご相談ください!



case study
一例
01



地域の子ども・若者に地域活動に関心を持ってもらいたい!

大人と中学生の対話の場 「トークフォーカダンス」

サポートオフィスが
お手伝いしたこと

企画 | チラシ作成 | 当日の進行

鶴川地区協議会で「地域の中学生も、まちづくりの話し合いに参加してほしい」という意見が出た際、サポートオフィスから「まずは中学生と地域の大人が気軽に対話できる場を作つてみてはどうか」と提案しました。これをきっかけに、昨年度初めてトークフォーカダンスを実施。今年度も、昨年度に引き続き、8月29日(金)に鶴川市民センターのホールで、一時間半のトークフォーカダンスを開催し、地区協議会から呼びかけをした中学生17名と、大人17名が参加しました。企画・進行にあたっては、ハンズオン埼玉理事・西川正さんから進行のコツや問い合わせの立て方、問い合わせの例などを共有いただきました。西川正さんが11月に書籍『まちを耕す～トークフォーカダンスで語ろう!』を刊行予定です。トークフォーカダンスについてもっと知りたい方は、本書をお読みになってください。

中学生が地域に関心をもつ第一歩

「話し手は無理に話さなくてもいい」「聞き手は、説教やアドバイスをしない」といった対話のルールを説明。その上で中学生向け12問、大人向け12問の問い合わせで対話をすすめました。問い合わせの内容は、答えやすいものから少しづつ深いものへ。笑いが起きた場面、真剣に考える静かな時間、問い合わせによって様々な反応がありました。10代から80代までが、同じ場で問い合わせるようになりました。



参加者の感想 中学生

- 普段、お父さんやお母さんともこんなにたくさん話すことはない。
- 一緒に話した人が「過去に戻って有名になり教科書に載りたい」と言っていたのが面白かった。

参加者の感想 大人

- 大人に聞いてもらえるという経験の積み重ねがあつて初めて自分の意見が言えるのかなと思った。
- 中学生が「時間があるから経験ができる、経験が自分をつくってくれるから時間が大切」と話していく、本当に感動した。
- 「大人のここがすごい・納得いかない」という質問が一番前のめりで話していた。文句や不満のエネルギーはすごいなと思った。

Memo

こんな〈問い合わせ〉しゃべりました

- あなたは、あれこれ好きになる派ですか?一つのことへのめり込む派ですか?
- あなたにとってこれだけはなくなったら困るというものはなんですか?
- タイムマシンがあったら、いつの時代にとんで、何をしたいですか?
- 大人のここがすごい・納得いかない、というところを教えて下さい。

Memo

「トークフォーカダンス」ってなに?

トークフォーカダンスとは、フォークダンスのように相手を変えながら、1対1で対話をを行うコミュニケーション手法です。参加者は円形に並べられた椅子に向かい合って座り、1分間ずつ交互に「話し手」と「聞き手」を交代しながら対話を進めます。双方が話し終えたら、外側の人が左隣の席へ1つ移動し、新しい相手と再び対話を行います。



case study
一例
02

サポートオフィスが
お手伝いしたこと

地域で新しいイベントを実施したい!
鶴川サイエンスラボ×夏休み宿題解決大作戦

企画 | 団体紹介 | 団体との調整 | チラシ作成 | 申込受付 | 当日の進行

7月25日(金)、「夏休み宿題解決大作戦」と題した企画を開催しました。サポートオフィスは、「まちカフェ!」参加団体でもある鶴川サイエンスラボにご協力をお願いし、企画の立案からチラシの作成まで、準備を進めました。当日は、午前中に鶴川サイエンスラボによる《色の見え方マジック～ブンブンごま》を作つて考えよう～》を実施。3色LEDによる多様な色の創色実験や、ブンブンごま作り、分光器での太陽の虹観察など、科学の楽しさが詰まった多彩な内容に、参画した8人の子どもたちは最後まで夢中になって取り組んでいました。午後にも様々な企画が実施され、充実した1日となりました。

Message
池田裕幸さん(鶴川サイエンスラボ)
普段とは異なる層の方々にも活動を知つていただく良い機会となりました。また、サポートオフィスと一緒に運営を行つて、名札をつけるなどのコミュニケーションにもチャレンジでき、新しい学びと広がりのある経験になりました。



case study
一例
03

サポートオフィスが
お手伝いしたこと

地域で活動の場を広げたい!
こどレスひろば「ハッピーコンサート」

個別相談 | ご紹介(市の担当者・地域の人・活動場所)

2025年4月にスタートした、見守り付き子育てひろば「こどレスひろば」。活動をさらに広げたいと「まちカフェ!オープンデー※」にご相談に来られました。その場で鶴川地区担当の地域おうえんコーディネーター小池晃さんをご紹介したことがきっかけとなり、8月のハッピーフライデーで赤ちゃんと保護者向けの「ハッピーコンサート」が実現しました。音楽や手遊び、親子のふれあい遊びなどを通じて、10組の親子が楽しいひとときを過ごしました。小さなお子さんたちの笑顔があふれ、温かい時間となりました。

※毎月第1木曜日に町田市庁舎2階市民協働おうえんルームでサポートオフィスが開催している地域活動の相談や協働を促進する場です。予約不要(一部イベント要予約)・相談無料

Message
瀧嶋ゆきさん(こどレスひろば)
多くの笑顔に励まされ、鶴川市民センターでの出会いを通じて地域の温かさを実感しました。私たちにできる形で、このつながりの輪を広げていきたいです。



KODORESHIROBA,MACHIDA

小池晃さん(地域おうえんコーディネーター)より

町田市では、共創による地域社会づくりを推進するため、地区協議会の活動を応援しています。鶴川では、ハッピーフライデー終了後に開催している「鶴川ブレスト会議YORAI」において、地域で活動する様々な方との「つながり」を作り、鶴川地域の課題を共有しています。サポートオフィスもコアメンバーとして、鶴川地域の魅力向上や課題解決に向けたユニークなアイデアを提供していただいている。今後も、サポートオフィスが、対話の場づくりや協働のもととなる関係性を育む活動を行うなど、地域の「やりたい」をサポートすることで、多くの地域が楽しく豊かになることを期待しています。